

西日本区メネット事業主任谷本様より、下記の連絡がございましたので、配信をお願い致します。

各クラブ会長様を通じてメネットの皆様へメネット事業通信がお届け出来ますよう、どうぞよろしくお願い致します。

京都部メネット事業主査 柳 早知子

こちら広島では台風 27 号が近づき雨音が強くなっております。
皆様の地域ではいかがでしょうか。被害がなく通過してくれればと思っております。
遅くなりましたが、添付の通りメネット事業通信第1号が完成しました。
内容は9部の部会のうちはじめの5部、中部部会から中西部部会のメネットアワー、合同メネット会、分科会の様子をまとめたものです。
記事を書きながら、皆様との楽しく充実していたひと時を思い出しました。

なおメネット活動については下記の通り、理事通信の中にも「メネットミニ通信」として情報を入れておりますので、併せてご覧ください。

- * 理事通信 9月号内の「メネット事業ミニ通信」
メネット主査研修会の様子
- * 理事通信 10月号内の「メネット事業ミニ通信 第2号」
中部部会～中西部部会のメネットアワー、合同メネット会、分科会の様子(簡易版)
- * 理事通信 11月号内の「メネット事業ミニ通信 第3号」(11月1日発行予定)
西中国部部会～瀬戸山陰部部会のメネットアワー、合同メネット会の様子(簡易版)
11月、12月の各部障がい者アート企画情報

また各部において様々なメネットの方々が関わられる催しが色々に行われていると思います。何か興味深い催しがございましたら写真に簡単な情報を添えて私までお送りください。今後のメネット事業通信に掲載させていただきます。

それでは上記の件、どうぞよろしくお願い致します。

2013-2014 メネット事業主任

谷本 久美子

～メネットパワーを結集し、感動をわかちあいましょう!～



メネット事業通信 第1号

2013-2014

2013年10月25日発行



主題 メネットパワーを結集し、感動をわかちあいましょう！

Let's bring together menettes' power and share the excitement!

【聖句】終わりに、皆心を一つに、同情し合い、兄弟を愛し、憐れみ深く、謙虚になりなさい。

(ペトロの手紙 3章8節)

メネット事業主任 谷本久美子

7月1日に新年度がスタートし、早4か月が過ぎようとしています。今の時期はクラブや部の行事が沢山あり、皆様忙しくされていることと思います。さて9月、10月の理事通信の中に「メネット事業ミニ通信」としてメネット活動を簡単にお知らせしましたが、正式なメネット事業通信はこれが第1号となります。

期の初めには、今年度のメネット事業国内プロジェクト「障がい者アート企画の各部での開催」が果たして各部で受け入れていただけるものかと私自身不安に思っておりました。しかしメネット事業主査、部長の皆様を中心にメン、メネットの皆様が協力して取り組んでいただき、部会メネットアワーを中心に心に残る素晴らしい催しとなっております。まだ開催されていない部も大まかな企画が決まっているようで本当に嬉しく思っております。ご協力ありがとうございます。

さて8月31日の中部部会を皮切りに10月12、13日の瀬戸山陰部部会まで西日本を横断しながら9つの部会に益国トシ子書記と藤川眞澄会計とともに参加させていただきました。前半5部会で開催されましたメネットアワー、合同メネット会、メネット分科会、また別会場で開催された障がい者アート展をご紹介します。なお残りの部会メネットアワーの様子は事業通信第2号でお知らせします。

1. 中部メネット会（メネットアワー）

澤瀬紀子主査

♡日時：8月31日（土） 11:30~12:30 ♡場所：金沢都ホテル

26名の参加。藤川書記とともに参加しました。会場外には第1回アート展として地元のひろびろ作業所の方々の絵や口に筆をくわえて書かれた絵手紙カレンダーが飾ってありました。メネットアワーでは挨拶のあと会食をしながら、全員で自己紹介をし、日頃のメネット活動、メネット会設立当初の様子などを披露してくださいました。その中で金沢クラブメネットの方から「名古屋東海クラブの活発なメネット会を見てメネット会を設立しました。」と言われると、名古屋東海クラブメネットの方からは現在メネット会はないが再興したいとの嬉しい発言がありました。また名古屋クラブ谷川修ワイズから来年4月に名古屋地区でメネット事業方針に沿った形で、中部第2回障がい者アート展が予定されていることが発表されました。

中部メネット活動の歴史、皆さんの熱心さ、おもてなしの心を感じた1時間でした。



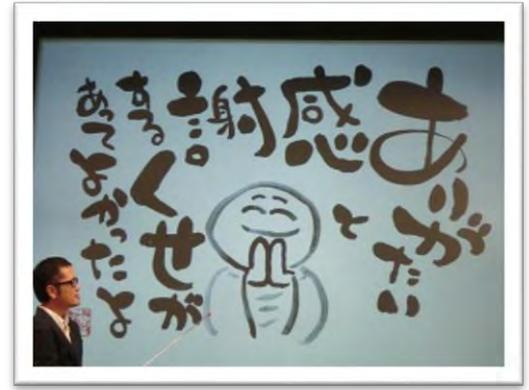
2. 京都部合同メネット会

柳早知子主査

♡日時：9月1日（日） 12:00~14:30 ♡場所：キャンパスプラザ京都

藤川会計と参加しました。会場は90名という部会と見間違ふほどの参加者で一杯でした。本日の講演は国内プロジェクトの第1弾として企画されました。「不思議なありがとうのチカラ」と題して講演されたのは、表現画房 河村武明さん（通称たけさん）でした。たけさんは2001年に突如脳梗塞で倒れられ、言語障害、聴覚障害、右手麻痺、失語症の重い後遺症が残り、絶望感を感じられたそうです。以前から知っていた宇宙学の詩「与えられたことを感謝して受けよ」を実践しようとして障害に「ありがとう」と思い続けたところ、2か月で、残った左手で絵が描けることを発見し、発病から半年で京都の路上で絵を売り始めたそうです。現在は代読者小牧めぐみさんと一緒に感謝の心を届けたいと全国での講演会500回を目指して飛び回っておられます。一度絶望感を味わったたけさんのメッセージはストレートに私を含め参加者に伝わりました。

素晴らしい講演会、そして11月4日ワイズデー・バリアフリーコンサートに併せた「文字絵アート作品展」を企画してくださった京都部メネットの皆様、支えてくださったメンの皆様、どうも「ありがとう」ございました。



3. 六甲部メネットアワー

五十嵐かほる主査

♡日時：9月7日（土） 13:00~14:00 ♡場所：クリスタルホール

52名の参加。藤川会計とともに参加しました。「ともに歩みつづけて～たいせつなキミ～」と題して開催されたメネットアワーは「きらりと輝くアート展」（9月27～30日）に先立って開催されました。アート展に作品を出されている自閉症のお子さんをお持ちの3名のお母様方のパネルディスカッションがあり、その中で自閉症の特徴、自閉症のお子さんを育てる苦悩、そして親同士で交流する中で開き直りができたこと、絵を描くことに子供たちが興味を示し、描きつづけさせたことなどをフランクにお話されました。子どもさんが小さい時は子育てに悩み、よく泣いていたという話には涙した方が多かったと思います。絵を描き始めた頃の絵と最近の絵を対比して見せていただき、素晴らしい上達を遂げていることに感動しました。お子さんの一人は全国ポスターコンクールで文部科学大臣賞を取られたそうです。またこのメネットアワーには絵を描いたお子さんたちも参加されており、誇らしげなお母さんの顔が印象的でした。（写真左から2枚目 / 右端は五十嵐主査）

「きらりと輝くアート展」

9月27日（金）～30日（月）までメネット国内事業として「みんなでアートを楽しもう」と題して芦屋市民センターにて障がい者アート展が六甲部主催で開催されました。（写真右から1、2枚目）

約100点の絵画、造形物が出品されていました。私も初日参加させていただきましたが、どの作品も個性的できらりと輝いていました。会場には六甲部のメネット、メンの方々が多数スタッフとしてお見えでした。このアート展を開催するにあたり、五十嵐主査を中心に何度も準備役員会を開かれご準備されたそうです。550名ほどの来場で大変盛況のようでした。

準備に関わってくださったメン、メネットの皆様、本当にご苦労様でした。



4. 阪和部メネット分科会

遠藤通寛主査

♡日時：9月14日（土） 13:00~14:30 ♡場所：紀泉わいわい村 あずまや内

赤とんぼが飛び交う大自然の中、阪和部部会が開催され、メネット分科会が一番がっしりとした造りの四阿（あずまや）で行われました。阪和部のメネットの方は昼食の片づけなどもあり、全員参加とはいかず、11名の参加でした。私は益国書記と一緒に参加しました。分科会の初めに遠藤主査がこれまで開催された部会メネットアワーの写真をスクリーンで見せてくださり、メネットの方たちは興味深そうに見ておられました。自己紹介の後遠藤主査から12月5日（木）に予定されている阪和部メネットの集いの紹介がありました。このメネットの集いを阪和部の障がい者アート企画と位置づけるとのことで、当日は障がい者の方たちとの交流報告、読み書きはできないが素晴らしい絵を描く山崎宥君のお母様のお話、施設に集うみなさんとの音楽を通じた楽しい交流を予定されているそうです。また12月大阪泉北クラブが主催する絵画展への出品も呼びかけられました。大自然の中でのメネットの方との交流は和気藹々としたアットホームなものとなりました。



5. 中西部合同メネット会

北村京子主査

♡日時：9月15日（日） 12:30~14:00 ♡場所：茨木市立生涯福祉センター ハートフル

支援先の方々13名を含む72名の参加。益国書記と参加しました。中西部メネット会では早い段階で一年間を通じて社会福祉法人・身体障害者自立協会フリーダム創生を支援することを決められ準備されてきました。当日は当協会の理事長山中一正氏が「社会的自立に向けて」と題して講演されました。現在10代から50代の55名が通所され、「通って楽しいことをして家に帰る施設」ではなく、「みんなで売れるものを作り販売する施設」を念頭に30年前から毎日チームを組んで町に販売に行かれており、山中理事長の彼らを自立させたいという思いの強さがよく伝わりました。また会の途中で通所者の皆さんが焼き上げた「幻のクリームパン」を参加者全員に配ってくださり、美味しくいただきました。中西部メネット会は手漉きカレンダーづくりの一連の制作を支援するというので、メネット会会場の後ろにはずらっとカレンダーの原画が飾られていました。どれも個性豊かで原画は額縁付きで即売され、かなり売れていました。部会会場ではメン、メネット、施設の方々が協力して手漉きカレンダー、絵葉書、クッキーなどの販売をされており、メネット会会場から移動した原画の展示もありました。部会の翌日はいきいきフェスティバル「障がい者アート展」が開催され、部会と同じように原画を展示し、カレンダー等の販売をされました。（写真右）

また11月3日（日）のとさぼりカーニバルにも「障がい者アート展」と題して同じ催しをされる予定です。メン、メネットの皆様、本当にご協力ありがとうございます。

